

ご 案 内

令和元年 7 月 30 日



国立研究開発法人海洋研究開発機構
地球環境部門

「日本一パラオ親善ヨットレースにおける多様なセクターとの協働による 海洋プラスチック調査の実施」について

国立研究開発法人海洋研究開発機構（理事長 平朝彦）は、神奈川県セーリング連盟らが共同主催する「2019-2020 日本一パラオ親善ヨットレース」において、多様なセクターとの協働のもと、社会的に極めて関心の高い海洋プラスチック汚染に関わる科学的調査を実施いたしますので、お知らせいたします。

【概要・背景】

海洋プラスチック汚染は地球規模の環境問題であり、生態系や人類の健康への影響や社会／経済的インパクトが懸念されています。昨今、多くの国が産学官民をあげての対策を取りつつあり、先の G20 大阪サミットにおいても、2050 年までに海洋への新たなプラスチック流出ゼロを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が表明されました。

他方で、プラスチックごみは広大な海洋に拡散し、その集積する過程は不明な点が多く、特にマイクロプラスチックに関するデータは不足しています。そのような状況の中で、海洋プラスチック汚染の迅速な解決のために、当機構のような専門の研究機関による調査に加え、競技ヨットやプレジャーボート、フェリーなどの民間船による市民参加型の調査が注目を集めています。

そこで、当機構としても、様々なセクターとの協働のもとでいち早く取り組みを進めるため、パラオ共和国独立 25 周年及び日本パラオ外交関係樹立 25 周年を記念して開催される「日本一パラオ親善ヨットレース」において、海洋プラスチック汚染に関わる科学的調査を実施いたします。

【調査内容】

日本一パラオ親善ヨットレースに参加する競技艇および伴走船（帆船「みらいへ」）に、マイクロプラスチック採取装置を設置し、レース中に海水からマイクロプラスチックを採取します。また、当機構の研究者が帆船「みらいへ」に乗船して、プランクトンネットによるプラスチック採取などいくつかの調査を実施します。帆船「みらいへ」には、パラオ共和国の青少年などを含む一般市民も乗船する

予定で、それらの乗船者にも何らかの調査活動に参加していただきたいと考えております。レース終了後は、表彰式などで調査結果を速報で紹介するほか、様々な機会を活用して、本活動を周知して参ります。

この活動は、海洋プラスチック汚染問題に高い関心を抱く多様なセクター間での協働のもとで実施する予定です。今後詳細が決まり次第、ウェブサイト等において適宜情報を公開いたします。

【協働機関（五十音順：令和元年7月30日現在）】

国立研究開発法人海洋研究開発機構：調査実施

<http://www.jamstec.go.jp/j/>

一般社団法人グローバル人材育成推進機構：調査機会提供（「みらいへ」運航）

<http://www.miraie.org/>

株式会社商船三井：調査協力パートナー

<https://www.mol.co.jp/>

日本パラオ親善ヨットレース実行委員会：調査機会提供

<https://japan-palau-yachtrace.com/>

以上

【本件お問い合わせ先】

国立研究開発法人海洋研究開発機構

地球環境部門 研究企画監

赤根 英介

046-867-9205（直通）

akanee@jamstec.go.jp

針路、南へ



日本とは縁の深いパラオ共和国が独立25周年を迎える2019年、その2つの国をつなぐ国際外洋ヨットレースが新たに誕生します。スタートは2019年12月末、横浜港内の横浜ベイブリッジ。直線距離1,935海里(約3,583km)を、年を越えて南に向かって走り抜け、目指すは南洋の楽園パラオのフィニッシュライン。日本の外洋ヨットレースの歴史、そして両国の親善友好の歩みに、大きな一歩を刻むイベントが始動します。



パラオ共和国 独立25周年記念

2019-2020 日本-パラオ親善ヨットレース

開催決定！

開催概要

- スケジュール：2019年12月28日(土) プレレース&前夜祭(横浜港) 2019年12月29日(日) スタート
- コース：横浜港(横浜ベイブリッジ)→パラオ共和国(直線距離 1,935海里)
- 参加資格：レース委員会が規定する安全基準を満たし、外洋航行に必要な装備を持つ、モノハルおよびマルチハル外洋ヨット、IRC/ORCデュアルスコアリングにより成績を決定する。

【共催主催団体(順不同、予定)】
 神奈川県セーリング連盟
 公益財団法人 日本セーリング連盟加盟団体 外洋三輪
 公益財団法人 日本セーリング連盟加盟団体 外洋東京湾
 公益財団法人 日本セーリング連盟加盟団体 三浦外洋セーリングクラブ
 公益財団法人 日本セーリング連盟加盟団体 外洋湘南

【後援】
 駐日パラオ共和国大使館
 国土交通省(予定)
 横浜市(予定)
 公益財団法人 日本セーリング連盟(予定)

【協力(順不同)】
 日本企業株式会社
 横浜清水村産業株式会社
 横浜ベイサイドマリーナ株式会社
 アクア船舶鑑定株式会社

【問】2019-2020 日本-パラオ親善ヨットレース実行委員会
 E-mail: info@japan-palau-yachtrace.jp
 https://www.facebook.com/JapanPalauRace/

【参考】

○搭載するマイクロプラスチック採集装置

Micro-Plastic sampler (独SubCtech社製)



採取装置による作業イメージ
(出典 <https://archive.theoceanrace.com>)

○帆船「みらいへ」概要

進水 1992年11月24日

竣工 1993年3月31日

※2013年11月22日 帆船「みらいへ」として就航

所有・運航者 一般社団法人グローバル人材育成推進機構

定員 53名 (うち船員13名)

艀装 3本マストトップスルスクーナー

総トン数 230トン

全長 52.16m (バウスプリット含む)

幅 8.60m

マスト高さ 約30m上甲板上 (最高)

垂線間長 36.00m

深さ 5.90m (上甲板まで)

満載吃水 4.50m

帆枚数・面積

横帆 3枚・約215㎡

縦帆 10枚・約568㎡

航海速度 6.5ノット

主機関 4サイクルディーゼル

プロペラ フェザーリング式可変ピッチプロペラ



画像提供：帆船「みらいへ」